

参考様式第1及び参考様式第2の別添3

漁業集落復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	☆ C 5 - 2 - 6	事業名	(38)防災拠点施設整備事業			
全体事業費	57,300 (千円)					
事業概要	<p>【事業名】 大沢地区（袴田区域）漁業集落避難施設整備事業</p> <p>【事業目的】 東日本大震災により甚大な被害を受けた大沢地区では、漁業集落防災機能強化事業をはじめとした復興事業により、宅地と住まいの整備が進められている。その中で袴田区域においては、基幹事業C-5-2・4大沢地区漁業集落防災機能強化事業により、集落の再生とともに高台への避難場所(津波・高潮災害に対する避難場所に指定)の整備を行っているが、山田町の避難場所で唯一孤立する恐れのある箇所であり、当該避難場所は雨風をしのぐ場所が無く、災害発生の際、気象状況によっては避難者の安全性を損なうこととなる。このことから本事業では、当該避難場所に避難施設を整備し、災害発生に伴う住民避難時の安全性向上を図るものである。</p> <p>【事業内容】 ・避難施設の建設 1箇所（袴田区域）</p> <p>【基幹事業との関連性】 C-5-2・4 大沢地区漁業集落防災機能強化事業</p> <p>基幹事業では、高台での宅地の整備や集落道の整備等、新たな漁業集落の整備を行っているところである。 本効果促進事業では、袴田区域の高台に整備された避難場所に、避難住民の安全性向上のための施設を整備するものであり、基幹事業の効果を促進させるものである。</p> <p>【事業期間】 ・検討業務及び基本設計、地質調査、詳細設計：令和2年1月～7月 ・本工事：2年9月～3年1月</p> <p>【事業費】 ・令和元年度 測量設計費（検討業務・基本設計等） 6,270千円（今回提出額） ・令和元・2年度 測量設計費（工事監理）、本工事費 51,030千円（概算）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">合</td> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">57,300千円</td> </tr> </table> <p>※本事業については、建設場所における周囲との高低差が9m程度あり、急峻且つ接続道路が階段であることから、建設手法、施設規模、事業費を算出することが困難となっている。 このことから用途内訳提出にあたり、今回、建設手法、施設規模の検討を含めた施設の基本設計及び詳細設計を実施し、その結果をもって次回、本工事の用途協議を行うものである。</p> <p>・避難想定人数：43人</p>			合	計	57,300千円
合	計	57,300千円				

※ この様式は、原則として、参考様式第1の別添2に記載した細要素事業名ごとに作成し、概要を示す図面を添付してください。